

科目名	精神看護学演習 (Seminar on Psychiatric & Mental Health Nursing)			科目コード	M215
選択区分	選択	履修時期	1通	単位数 (時間)	2 単位 (60時間)
担当教員	越智 百枝・中平 洋子			関連DP	看②③⑤
授業概要	看護研究方法論で学んだ知識をもとに、看護研究を遂行するために、課題の明確化に向けた文献クリティークの方法や課題解決のための研究手法について教授する。				
授業目標	精神看護学特論 I、II で学んだことをもとに、精神看護の対象理解や援助にかかわる現象を扱った文献のクリティークを行い、精神看護領域の課題についての考察を深める。またそれらの課題の解決に適切な研究手法について、文献クリティークから検討するとともにフィールドワーク、データ分析の実際などをトレーニングし研究手法を修得する。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2・3	文献クリティークの方法と課題の明確化	精神看護の対象理解や援助にかかわる課題の明確化 文献クリティークの方法
4・5		対象理解や援助にかかわる課題に関する文献クリティーク (1)
6・7		対象理解や援助にかかわる課題に関する文献クリティーク (2)
8・9		対象理解や援助にかかわる課題に関する文献クリティーク (3)
10~14	課題解決のための研究手法の理解と修得	精神看護領域の課題解決に適切な研究手法の検討
15~21		研究手法の修得 (文献抄読)
22~25		研究手法の修得 (フィールドワーク)
26~30		研究手法の修得 (データ分析の実際)
成績評価方法	課題レポート (60%)、プレゼンテーションの内容 (40%) により評価する。	
必携あるいは参考図書・文献	必携 ①J. Garrard 著, 安部陽子訳: 看護研究のための文献レビュー: マトリックス方式、医学書院 ②J. Corbin, A. Strauss 著, 操華子, 森岡崇訳: 質的研究の基礎 第3版: グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順、医学書院、 参考文献 ・操華子, 松本直子: 臨床看護研究の道しるべ、日本看護協会出版会、 その他は欧文文献を含めて適宜紹介する。	
授業時間外の学習について	自身の研究と関連する学習テーマについて、他学生と共有し議論できるように、ディスカッションポイントを明確にして資料を作成する。	
関連科目	203 看護研究方法論、213 精神看護学特論 I、214 精神看護学特論 II、223 特別研究	
備考		